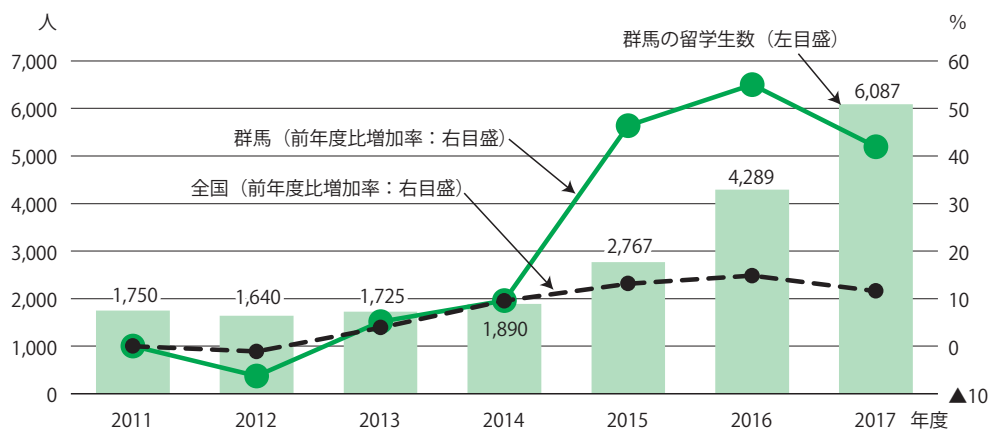


ベトナムからの留学生を中心に増加をたどる本県の外国人留学生数

- 独立行政法人日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」によると、2017年5月1日現在の群馬県の外国人留学生在籍数は6087人となった（図表1）。2011年度以降の増加率をみると、東日本大震災翌年の12年度はやや低下したものの、13年度以降増加を辿り、特に15年度、16年度、17年度は全国平均を大きく上回っている。
- 外国人留学生を出身国地域別にみると、11年度では中国（76.7%）が圧倒的に多く、ベトナム（6.6%）が2位であったが、16年度にはベトナム（32.3%）が中国（25.2%）を抜いてトップとなり、ネパール（23.4%）が3位に入っている（図表2）。17年度もベトナム（35.9%）を筆頭に、中国（22.6%）、ネパール（17.8%）の順となっており、この3カ国で本県全体の76%強を占めている。
- アジアからの留学生が増加している背景には、日本政府が外国人留学生の増加を目指す「留学生30万人計画」を推進していることや、アジアの経済発展と相まって日系企業のベトナム等アジア各国への進出が進んでいることがある。また、本県がベトナムとの経済交流に力を入れていることも寄与しているものと考えられる。

図表1 群馬県の外国人留学生在籍数と増加率の推移



図表2 国地域別にみる外国人留学生在籍数の推移【群馬：上位5カ国】

単位：人、()内は構成比%

年度	1位	2位	3位	4位	5位	合計
2011	中国	ベトナム	韓国	マレーシア	インドネシア	1,750
	1,343 (76.7)	115 (6.6)	59 (3.4)	54 (3.1)	37 (2.1)	(100.0)
⋮						
2015	中国	ネパール	ベトナム	ミャンマー	インドネシア	2,767
	1,015 (36.7)	671 (24.3)	561 (20.3)	209 (7.6)	82 (3.0)	(100.0)
2016	ベトナム	中国	ネパール	ミャンマー	スリランカ	4,289
	1,386 (32.3)	1,079 (25.2)	1,005 (23.4)	325 (7.6)	118 (2.8)	(100.0)
2017	ベトナム	中国	ネパール	スリランカ	ミャンマー	6,087
	2,188 (35.9)	1,374 (22.6)	1,081 (17.8)	350 (5.7)	319 (5.2)	(100.0)

参考：国地域別にみる外国人留学生在籍数の推移【全国：上位5カ国】

2017	中国	ベトナム	ネパール	韓国	台湾	267,042
	107,260 (40.2)	61,671 (23.1)	21,500 (8.1)	15,740 (5.9)	8,947 (3.4)	(100.0)

資料出所：独立行政法人日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」

注：外国人留学生数は、本部所在地の都道府県の留学生数としてカウントされている。

(担当：丸岡美智世)